十和田湖・奥入瀬スケッチマップ

# 3.西湖畔エリア

Lake Towada and Oirase Sketch Map



## ❶樹恩の鐘

小坂町に縁のある鉱山技師クルト・ネットーの故郷であるドイツ、ラウハンマー社で鋳造されました。鐘は高さ12mの4本の柱に吊り下げられており、8時～18時まで、毎時やさしいメロディーが湖畔に響き渡ります。音楽は『湖は瞳のように』という約3分間の曲で、作詞は環境ジャーナリストの三島昭男氏、作曲は土田啓四郎氏。

## ❷和井内神社

和井内貞行とその妻カツを祀っています。明治40年（1907年）、カツが亡くなった際、湖畔の人々が彼女の厚意に感謝し「勝漁神社」を建立したのが始まり。その15年後の大正11年（1922年）に和井内貞行も帰らぬ人となり、共に勝漁神社に祀られることとなります。昭和8年（1933年）に名称を【和井内神社】に改名。湖畔の人々の信仰を集めています。

## ❸白地山

十和田湖の外輪山（西側）で、岩木山も岩手山も眺められる良い登山コースがあります。登山口は大川岱から、ミソナゲコース、大川岱コースの2コースのほか、樹海ラインからのコースがあります。いずれのコースも片道約2時間半～3時間程度。

## ❹礼拝堂

大正9年（1920年）にアメリカ人宣教師ヴァイアル主教によって建てられました。昭和36年（1961年）には当時の在日米国大使ライシャワー氏もこの礼拝堂に立ち寄っています。普段訪れる人は極まれで、十和田湖やヴァイアル山荘でキャンプや集会があった時に利用されています。すぐ近くにナザレ修女会の施設もあります。

## ❺大川岱

広い無料駐車場（約50台）や公衆トイレの設置された西湖畔観光の拠点。31,700㎡の敷地が整備された、湖畔では最大規模の公園があります。大川岱桟橋からは視界を遮られることなく中山半島や御倉半島を望め、十和田湖の雄大さを感じられます。5月中旬にはオオヤマザクラが咲き誇り、さらに彩り鮮やかな景観を楽しめます。

## ❻十和田プリンスホテル

湖畔の遊歩道沿いにあるホテル。ラウンジから望む十和田湖は広い芝生のガーデンと相まって解放感たっぷり。絵画のような景色と人気の自家製アップルパイを楽しめます。建物は、今では珍しい丸太の原木を組んだ造りで、日帰り入浴ができる大きな温泉露天風呂からの景色もおすすめです。

## ❼鉛山桟橋

十和田ホテル側から遊歩道に入って徒歩1分ほどのところに鉛山桟橋があります。眼前に広がる雄大な景色と、グリーンタフ（緑色凝灰岩）が作り出すエメラルドグリーンの澄んだ湖面は、まるで物語のワンシーンのようです。

## ❽十和田ホテル

昭和14年（1939年）開業。本館は「秋田杉の館」とも呼ばれ、国登録有形文化財に指定されています。北東北三県の宮大工たちによって釘を一本も使用せずに建築されたという吹き抜けのロビーは非常に趣深く、重厚な雰囲気が楽しめます。

## ❾白雲亭展望台（標高約840m）

片道60分程度の登山を要します。足場の悪い山中を往くため、必ず登山向きの装備を整え、現地ガイドに同行してもらってください。健脚向けの険しい道のりですが、展望台からの眺めは西湖畔随一。十和田湖を一望できる名スポットです。

## ❿発荷峠展望台（標高631m）

駐車場も広く、車で気軽に立ち寄れる展望台。標高631mから広々とした十和田湖の景色を見下ろすことができます。十和田湖を囲む外輪山と、その後方に見える南八甲田の山々の連なりが素晴らしい。十和田湖のライブ映像用カメラが設置されており、環境省のwebページで公開されています。



## 小坂鉱山事務所

明治後期から大正前期にかけて鉱産額日本一を誇った小坂町のシンボル。現在は小坂町の歴史を伝える重要な資料館として公開されています。すべて天然秋田杉造りとされる木造3階建て、ルネッサンス風の華麗な外観は必見。ルネッサンス風にこだわらず多様な文化の様式が随所に織り込まれており、建造物としても興味深いです。近代化産業遺産に認定（経済産業大臣）され、国の重要文化財にも指定されています。
100種類以上のレンタルドレスを取りそろえる「モダン衣裳室」のドレスを着て、館内で写真を撮影することもできます（事前予約制）。
TEL 0186-29-5522

## 七滝

日本の滝百選のひとつに数えられる名瀑です。落差約60mから七段にわたって流れ落ちるこの滝は、源を十和田湖外輪山付近に発しています。
ふもとには竜神様を祀る七滝神社や水車小屋があり、風情を感じさせます。また、向かいには「道の駅こさか七滝」があり、お食事やお土産が楽しめます。

## 康楽館

明治43年（1910年）、小坂鉱山の厚生施設として誕生した康楽館は、現役の木造芝居小屋として日本最古級の劇場。国の重要文化財に指定されています。常設公演や歌舞伎大芝居などを鑑賞できるほか、館内見学も可能で、珍しい舞台装置や楽屋等を黒子の案内で見ることができます。
TEL 0186-29-3732

## ⓫紫明亭展望台（標高630m）

発荷峠から小坂町への樹海ラインの途中にある展望台です。発荷峠展望台と距離はそれほど離れていませんが、ここから見える十和田湖（西湖）はハートのような形をしているのが特徴です。家族や友人、大切な人との記念撮影はぜひ紫明亭展望台で。ハートを探してみてください。

## 和井内貞行

十和田湖は明治初期まで魚が棲まないと言われていましたが、小坂鉱山に勤務していた和井内貞行が養魚事業に乗り出しました。彼は鉱山を辞め、多額の借金を抱えながら何度も様々な種類の稚魚の放流を試みましたが、ことごとく失敗。明治35年（1902年）、彼は最後の望みをかけて北海道産の「カパチェッポ（ヒメマス）」の卵を購入し、翌年春に孵化した稚魚を放流したところ、3年後の明治38年（1905年）秋にヒメマスが群れをなして帰ってきました。これが、貞行が21年の歳月と多額の経費を投じた養魚事業成功の瞬間でした。
その後、貞行は生涯十和田湖の観光開発に力を注ぎ、妻カツと共に「和井内神社」に合祀されています。
そして現在、ヒメマスは「十和田湖ひめます」として愛される十和田湖の名物となっています。



## ⓬レークサイド山の家・山神の滝

レークサイド山の家は、コテージや集会場がある森の中の宿泊施設。湖畔を眺めながらバーベキューも楽しめます。山の家の裏手には、落差約20mの山神の滝があります。

最新情報はこちら

2020年 青森県上北地域県民局 作成

十和田湖周辺地域は特別保護地区または特別地域に指定されており、植物や石などの持ち帰りは法律で禁止されています。また、歩道外へ立ち入ることは植生へのダメージがありますのでご遠慮ください。